

# 佐賀県の養豚場で豚熱が発生しました！ (国内88例目)

8月30日、佐賀県唐津市の養豚場において豚熱の患畜が確認されました。また、佐賀県の発表では、発生農場から半径3km内にある他の1農場でも疑い事例があり、現在確認中とのことです。

佐賀県は豚熱ワクチン未接種で、平成30年の豚熱の国内発生以降、九州地方での発生は初めてとなります。

飼育施設への部外者の立入制限と車両・靴等の消毒、施設周辺の消毒やネズミ駆除、野生動物の侵入防止などの衛生対策をしっかりと実施してください。

豚やいのししに異状がみられた場合は速やかに通報してください。



## 【88例目の概要】

発生農場 佐賀県唐津市 約450頭飼養

- 経過
- ・8月29日、農場から死亡頭数増加の通報。
  - ・8月30日、国で精密検査を実施、豚熱の患畜であると判明。

## 【疑い事例の概要】

疑い農場 佐賀県唐津市 約1万頭飼養  
(88例目から半径3km内)

- 経過
- ・8月30日、農場から死亡頭数増加の通報。
  - ・8月31日、国の精密検査を実施予定。

## 【豚熱の特定症状】

- 耳、下腹部、足等の紫斑(チアノーゼ)
- 40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退
- 結膜炎、目やに
- けいれん、後ろ足の麻痺
- 皮下出血、血便

管内の飼育豚、いのししにはワクチン接種をしていますが、油断をせず、衛生対策をしっかりと行い、感染のリスクを下げましょう！

以下について、いまいちど点検をお願いします！

- ☑ 毎日、豚やいのししの健康観察をしてください。異常があればすぐ通報！
- ☑ 出入りする車両や飼育施設周辺の消毒を徹底してください。
- ☑ 飼養衛生管理区域専用の衣服・長靴を着用してください。
- ☑ ネットや柵、コンパネなどを活用し、いのしし、ねずみなどの野生動物の侵入や接触の防止対策をしてください。
- ☑ 肉及び肉製品が含まれている可能性のある飼料は加熱給与してください。  
(攪拌しながら90℃以上60分以上又はこれと同等以上)

※ 攪拌しながら90℃で60分以上、又は95℃で19分以上、100℃で6分以上